

## 第 40 回関東医真菌懇話会 MMUT 幹事会議事録

日 時： 2019 年 6 月 1 日(土) 午後 12 時 45 分～13 時 15 分

場 所： 京王プラザホテル 47 階「ひかり」

〒160-8330 新宿区西新宿 2-2-1 電話 03-3344-0111(代表)

出席者： 五十棲 健、大野 尚仁、金子 健彦、亀井 克彦、川本 進、  
澁谷 和俊(議長)、杉田 隆、常深 祐一郎、坪井 良治、中村 遊香、  
福田 知雄、前崎 繁文、榎村 浩一、宮崎 義継、村山 琮明、森 毅彦、  
山田 剛、渡辺 晋一(五十音順)

欠席者： 安藤 常浩、加納 壘、神田 善伸、佐々木 淳一、二木 芳人、  
吉田 稔、渡辺 哲(五十音順)

議 事：

《報告》

1. 前年度活動(第 39 回関東医真菌懇話会)報告 金子 健彦幹事(前会長)  
前年度会長 金子 健彦先生より、幹事各位の協力に対して謝意が表された。
2. 平成 30 年度会計報告(資料 1) 金子 健彦幹事(前会長)  
澁谷 和俊幹事(事務局)  
添付資料に従って平成 30 年度の会計及び監査結果が報告された。
3. 本年度活動(第 40 回関東医真菌懇話会)報告 杉田 隆幹事(会長)  
本年度会長杉田 隆先生ご挨拶後、午後 12 時現在の入場者数 138 名(最終集計では 162 名)との報告があった。
4. 第 41 回関東医真菌懇話会開催について 前崎 繁文幹事(次期会長)  
2020 年 6 月 6 日(土)京王プラザホテルにて開催予定。尚、日本皮膚科学会(6 月 4 日から 6 月 7 日開催、会務総会:6 月 5 日、全体懇親会:6 月 6 日予定)が同時期に京都で開催されるが、オリンピック開催年のため施設予約の変更が困難であることから、予定通り 6 月 6 日での開催となった。議長より、皮膚科学会出席予定の幹事各位に対して可能な限り調整して頂きたく要望があった。

《審議》

5. 第 42 回関東医真菌懇話会開催について 澁谷 和俊幹事(事務局)  
5-1 当番世話人(会長)推薦の件  
5-2 開催候補日の件(資料 2)

議長より、上記案件が時期尚早(2020 年のオリンピックのために次次期会長まで指名した昨年度は例外的な手続き)であるとの理由より、本案件を継続審議とすることについて諮られ、出席幹事全員の賛同を得た。採決の後、出席幹事より関東医真菌懇話会プログラム・抄録集に歴代会長の記載覧を設けることについて提案があり、出席幹事全員の賛同を得た。この後、議長(事務局長)より次年度より施行することが運営事務局に指示された。

6. 学術集会の開催形態について 澁谷 和俊幹事（事務局）
- 予てより審議されていた本案件について、我が国における医真菌学の活性化と日本医真菌学会会員の参加に対する利便性を確保することを目的として日本医真菌学会との共同での開催について諮られ、出席幹事全員の賛同を得た。次いで、共同開催の形態として、運営資金ならびに企画について完全に関東医真菌懇話会（以下懇話会）の独自性が保証される共催形態である日本医真菌学会の後援（2018年度第1回理事会議事録：真菌誌 59:J7-11 2018）とすることが諮られ、出席幹事全員の賛同を得た。本決議により、次期学術集会を以下の様に表記する。

### 第 41 回関東医真菌懇話会

後援 一般社団法人 日本医真菌学会

7. 参加費の改定について
- 昨今の財務状況に鑑み、本懇話会参加費を一律 5,000 円とすることについて提案され、出席幹事全員の賛同を得た。また、同時に第 41 回以降の懇話会を日本医真菌学会の後援として開催とすることから、日本医真菌学会員（以下会員）の利便性を確保するために、会員の参加費を 3,000 円に減額することが諮られ、出席幹事全員の賛同を得た。次いで全ての情報交換会参加者から会費 2,000 円を徴収することについて諮られ、同じく出席幹事全員の賛同を得た。

尚、承認された本案件の実施にあたり、以下の手続きが確認された。

- ・ 本懇話会当日における会員の身分は自己申告にて確認する。
- ・ 懇話会当日に入会した参加者からは、当日に日本医真菌学会会費を徴収することで懇話会の参加費を会員と同額に減ずる。
- ・ 当日入会者の会員歴に係る不利益を回避するために、医真菌学会入会日を同年 9 月 1 日（日本医真菌学会翌事業年度始業日）に繰り延べする。
- ・ 日本医真菌学会会員の懇話会参加費は、医真菌学会の会員種別（正会員、名誉会員、奨励会員等）に係わらず一律 3,000 円とする。ただし、学部学生、大学院学生、外国人留学生ならびに奨励会員でこの身分にある者の参加費は、無料とする。

<補足> 参加費改定理由（事務局）：

- \* 企業協賛の漸減傾向が持続しているため、現在の参加費では運営が困窮する見込みである。
- \* プログラムに自主企画の割合を増やす必要が出来している。
- \* 参加者に対して最新の情報提供を目的に作成している本懇話会プログラム・抄録集 1 冊の印刷費が、参加費を上回る現状を是正したい。

8. その他 澁谷 和俊幹事（事務局）
- (1) 新幹事推薦の件
- 議長（事務局長）より出席幹事に推薦が求められた結果、下記 3 名先生が推挙された。この 3 名の候補者に対する幹事就任依頼について諮られ、出席者全員の賛同を得た。

新幹事：(五十音順)

時松 一成 先生 (昭和大学医学部内科学講座 臨床感染症学部門)

浜田 幸宏 先生 (東京女子医科大学病院 薬剤部)

原田 和俊 先生 (東京医科大学 皮膚科学分野)

(2) 顧問制度について

議長より、本会が以前行っていた顧問制度の復活について諮られ、出席幹事全員の賛同を得た。

この決議に付帯して、出席幹事より会則第7条の遵守状況について疑義が照会された。議長より厳正に適用されていない現状説明とこれに対する謝罪があった。次いで、会則の厳正な適用を推進すること、第7条適用の対象となる幹事に対しての謝罪、ならびに顧問会員に推挙することについて提案され、出席幹事全員の賛同を得た。

(3) プログラム・抄録集

今回のプログラム・抄録集作成にあたり、中村 遊香幹事が疾患名称及び文章の統一化に貢献していただきましたので、今後、プログラム・抄録集に編集者として後付けに『編集 中村遊香 (関東医真菌懇話会)』と記載することで中村幹事の貢献を明確化することについて諮られ、出席幹事全員の賛同を得た。

(4) プログラムにおける企業協賛企画と自主企画の構成比について

協賛企業の内規改正等の影響で、より柔軟なプログラム構成の策定が求められている。この件について、今後は事務局及び当該年度の会長に一任することが諮られ、出席幹事全員の承諾を得た。

以上

文責：関東医真菌懇話会 運営事務局・同事務局  
大上 紗扶里・澁谷 和俊

2019年6月19日確定